

報道関係各位

【ニュースリリース】

2026年4月14日

計3枚

株式会社スペースシフト

スペースシフト、ウエスコと共同申請した事業が JAXA 宇宙戦略基金（第二期）に採択

～衛星データによる盛土検知・土砂崩落リスク評価の社会実装に貢献～

株式会社スペースシフト（本社：東京都千代田区、代表取締役：金本成生、以下「スペースシフト」）は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（以下「JAXA」）が公募した宇宙戦略基金（第二期）の技術開発テーマ「衛星データ利用システム実装加速化事業」において、株式会社ウエスコ（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：北村彰秀、以下「ウエスコ」）を代表機関として採択された技術開発課題「マルチモーダルAIによる違法・不正盛土検知と土砂崩落リスク評価」に、連携機関として参画することをお知らせします。

プレスリリース

スペースシフト、ウエスコと共同申請した事業が JAXA宇宙戦略基金(第二期)に採択

～衛星データによる盛土検知・土砂崩落リスク評価の社会実装に貢献～

SPACE SHIFT

本事業では、当社の事業共創プログラム「SateBiz（サテビズ）」のパートナー企業であるウエスコが代表機関としてプロジェクト全体を統括し、総合建設コンサルタントとしての防災・インフラ分野の知見を活かした教師データの整備やリスク評価の要素検討を担います。当社は連携機関として、合成開口レーダー（SAR）衛星データ・光学衛星データを活用した盛土検知AIアルゴリズムの開発・検証、および土砂崩落リスク算定モデルの開発・検証を担当します。

本事業において当社は、これまで培ってきた光学・SAR等の多様な衛星データを活用したAI解析技術の知見を活かし、複数の衛星データを統合的に解析する深層学習モデルの開発を通じて、盛土検知の高精度化と社会実装の加速に貢献してまいります。

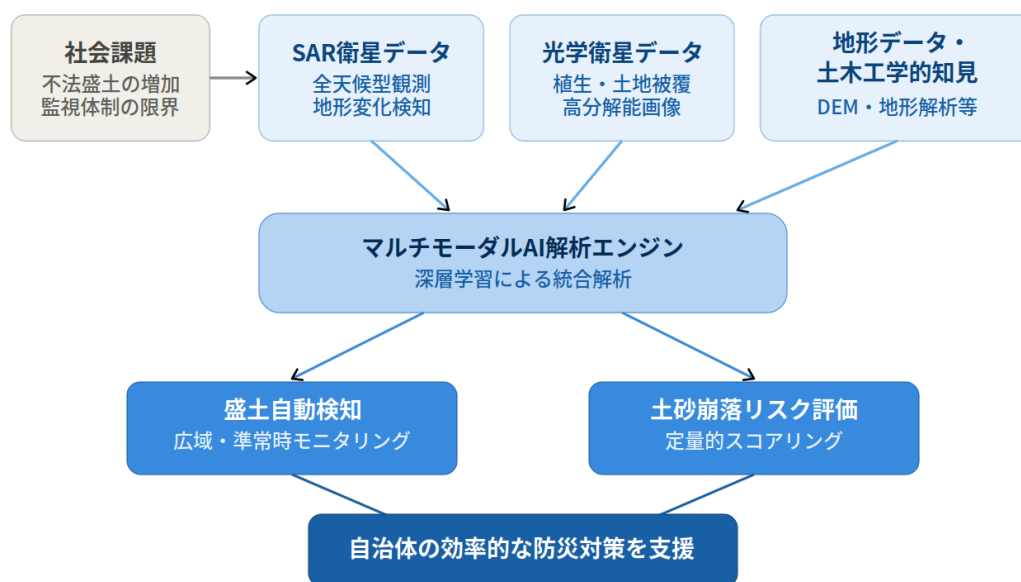
参考：採択結果一覧 https://fund.jaxa.jp/content/uploads/kekka2_22.pdf

■ 本事業について

2021年の静岡県熱海市における盛土崩壊災害を契機に、2023年5月に盛土規制法が施行され、全国の自治体には概ね5年ごとの盛土調査が義務付けられました。しかし、全国に数十万箇所以上あるとされる盛土の把握や不法盛土の監視を、限られた人員と予算で実施することは大きな課題となっています。

本事業では、複数の衛星データとAI技術を組み合わせ、広域にわたる盛土の自動検知と、検知された盛土の土砂崩落リスクを定量的に評価するシステムを開発します。自治体の調査ニーズに応じた複数の検知モードを備え、天候条件に左右されにくい安定的な監視体制の構築を目指します。

技術開発完了後は、自治体向けの盛土調査支援サービスの提供を皮切りに、インフラ管理事業者や保険・金融分野への展開、さらにはアジア諸国への海外展開も視野に入れた事業化を目指します。



【本事業の全体概要図】

■ スペースシフトについて

2009年12月設立。「Sense the Unseen from Orbit（地球上のあらゆる変化を認識可能に）」をテーマに、地球観測衛星から得られたデータを解析するAIの開発を行っています。インフラ管理、防災・減災、農業、環境保全など、様々な分野で活用可能な衛星データ

解析パッケージ「SateAIs（サテアイズ）」を展開。また、事業共創プログラム「SateBiz（サテビズ）」を通じて、衛星データを用いた持続可能な社会の実現を目指しています。

会社名：株式会社スペースシフト（英文表記：Space Shift Inc.）

代表者：代表取締役 金本成生（かねもと なるお）

本社所在地：東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 6 階

設立：2009 年 12 月 11 日

資本金：703,990,750 円（資本準備金含む）

URL：<https://www.spcsft.com/>

* 商品名、会社名、団体名は、各社の商標または登録商標です。

<本リリースに関するお問合せ>

株式会社スペースシフト（担当：竹内、堤）

お問い合わせ E-mail：pr@spcsft.com